

【五月の言葉（令和二年）】

## 無事をよろこぶ

「今日は何もなかった」……こう言う場合は、特に面白いことがなく、平凡な一日であつたと少々不満げな思いが感じられます。

世の中に大変なことが起こることを「有事」と言います。

（今のコロナウイルスの状況はまさに有事です）

一方、何も起こらないことを「無事」・「平和」と言います。世の中には、「無事」・「平和」が“当たり前”と考えている人が多いようです。しかし、平和を維持していくための様々な努力が行われ、その上に尊い「平和」が築かれています。

「今日は何もなかった」ではなく、「おかげさまで今日も大過なく過ごすことができた」と静かな喜びを感じられるような日々の過ごし方を心がけたいものです。

かつて農村地帯では、夕刻のお寺の鐘の音を聞き、くわ鍬の手を休めて静かに「南無阿弥陀仏……」と称えて家路についたと聞きます。「今日も無事に一日のつとめを果たすことができました。ありがとう」と。